

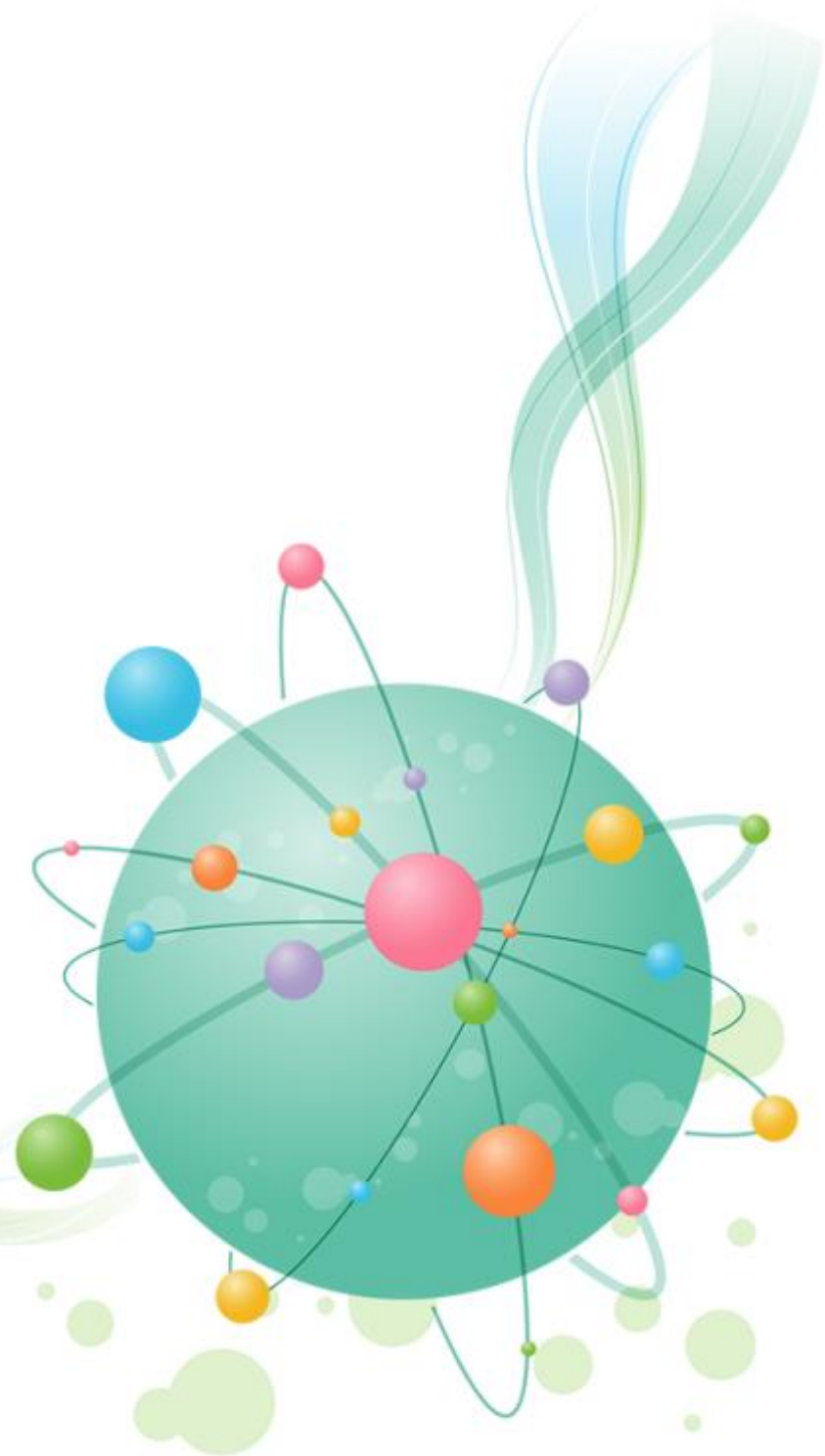


大日本塗料株式会社

# 2020年3月期第2四半期 決算説明会

2019年11月26日

証券コード 4611 東証第一部





<b>Part I . 決算実績・業績予想</b>	<b>P. 2</b>
<b>Part II . 経営戦略</b>	<b>P. 16</b>
<b>Appendix . 製品紹介、関連会社事業内容</b>	<b>P. 32</b>

# Part I . 決算実績・業績予想



# 1.DNTグループの概況



- 国内塗料は構造物塗料を中心に、建材塗料、金属焼付塗料（カーテンウォール）に強み
- 海外塗料は自動車部品用塗料を中心に、着実な成長を志向

## 海外塗料

- 自動車・プラスチック塗料
- 金属焼付塗料
- 車輻及び産業機械塗料
- 構造物塗料
- 建築塗料
- 建材塗料



## 照明機器(DNライティング(株)/ニッポ電気(株))

- 業務用照明機器



## 蛍光色材（シンロイヒ(株)）

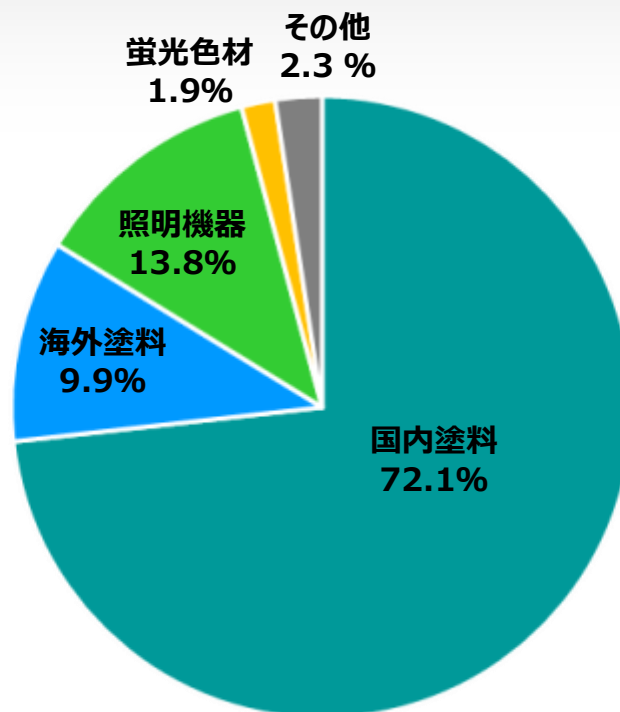
- 蛍光塗料・反射塗料



## 売上構成

(2020年3月期2Q)

連結売上高：36,841百万円



## 国内塗料

- 構造物塗料
- 建築塗料
- 建材塗料
- 金属焼付塗料
- 車輻及び産業機械塗料
- 自動車・プラスチック塗料
- 自動車補修塗料
- ジェットインク等



## その他

- エンジニアリング  
(日塗エンジニアリング(株))
- 物流  
(ニットサービス(株))



## 2. 2020年3月期第2四半期決算実績



### ① 決算概要総括

#### 業界環境

- 原材料価格の高騰は小康状態に。需要動向は横ばい推移のなか、高付加価値品の拡販やシェア拡大に注力

#### 売上面

<b>連結売上高</b> <b>36,841</b> 百万円  <b>前年同期比</b> <b>+536</b> 百万円 <b>+1.5%</b>	<b>国内塗料</b>	<b>26,557</b> 百万円	<b>+217</b> 百万円 <b>+0.8%</b>	■ 構造物分野で需要が回復基調にあり、増収
	<b>海外塗料</b>	<b>3,649</b> 百万円	<b>△308</b> 百万円 <b>△7.8%</b>	■ 主要顧客の減産等により各拠点で低調に推移し、減収
	<b>照明機器</b>	<b>5,090</b> 百万円	<b>+707</b> 百万円 <b>+16.1%</b>	■ 商業施設向けの店舗照明需要が好調に推移し、増収
	<b>蛍光色材</b>	<b>684</b> 百万円	<b>+46</b> 百万円 <b>+7.4%</b>	■ 高付加価値品の販売が堅調に推移し、増収

#### 利益面

<b>連結営業利益</b> <b>2,752</b> 百万円  <b>前年同期比</b> <b>△69</b> 百万円 <b>△2.5%</b>	<b>国内塗料</b>	<b>1,119</b> 百万円	<b>△317</b> 百万円 <b>△22.1%</b>	■ 本社移転に伴う費用の発生に伴い、減益
	<b>海外塗料</b>	<b>439</b> 百万円	<b>△142</b> 百万円 <b>△24.6%</b>	■ 自動車部品分野の販売減に伴い、減益
	<b>照明機器</b>	<b>892</b> 百万円	<b>+398</b> 百万円 <b>+80.7%</b>	■ 売上拡大に加え、製造原価の低減が進展し、増益

## 2. 2020年3月期第2四半期決算実績

### ②損益計算書（P/L）（連結）



(単位：百万円、%)

	実績						コメント
	2019年3月期 第2四半期		2020年3月期 第2四半期				
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比		
					増減額	増減率	
売上高	36,304	100.0	36,841	100.0	536	1.5	■ 照明機器の大幅な増収707M
売上総利益	10,814	29.8	10,903	29.6	89	0.8	
販売費及び 一般管理費	7,991	22.0	8,150	22.1	159	2.0	■ 本社移転に伴う費用152M
営業利益	2,822	7.8	2,752	7.5	△ 69	△ 2.5	■ 照明機器の増益も、国内・海外塗料で減益
経常利益	2,902	8.0	2,872	7.8	△ 29	△ 1.0	■ 製品補償引当金繰入額の減少△45M
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,789	4.9	1,776	4.8	△ 12	△ 0.7	
減価償却費	1,011	—	1,063	—	51	5.1	
設備投資額	690	—	2,371	—	1,681	243.6	■ 新素材／防食センター（仮称）の着工に伴い増加

## 2. 2020年3月期第2四半期決算実績

### ③セグメント別売上高・営業利益（連結）



(単位：百万円、%)

	実績						コメント
	2019年3月期 第2四半期		2020年3月期 第2四半期				
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比		
					増減額	増減率	
<b>売上高</b>	36,304	100.0	36,841	100.0	536	1.5	
国内塗料	26,339	72.6	26,557	72.1	217	0.8	■ 構造物分野で需要が回復基調
海外塗料	3,958	10.9	3,649	9.9	△ 308	△ 7.8	■ 主要顧客の減産等により、各拠点で低調に推移
照明機器	4,382	12.1	5,090	13.8	707	16.1	■ 商業施設向け店舗照明需要が好調に推移
蛍光色材	637	1.8	684	1.9	46	7.4	■ 高付加価値品の販売が堅調に推移
その他	986	2.6	859	2.3	△ 127	△ 12.9	■ 首都圏を中心とした塗装工事需要が一巡
<b>営業利益</b>	2,822	100.0	2,752	100.0	△ 69	△ 2.5	
国内塗料	1,436	50.9	1,119	40.7	△ 317	△ 22.1	■ 本社移転に伴う費用の発生
海外塗料	581	20.6	439	15.9	△ 142	△ 24.6	■ 自動車部品分野の販売減に伴う収益悪化
照明機器	493	17.5	892	32.4	398	80.7	■ 生産効率改善などにより製造原価が低減
蛍光色材	30	1.1	63	2.3	33	111.9	■ 製品価格改訂が顕在化
その他	144	5.1	102	3.7	△ 41	△ 28.8	
調整額	135	4.8	134	5.0	0	△ 0.5	

## 2. 2020年3月期第2四半期決算実績



### ④貸借対照表 (B/S) (連結)

(単位：百万円)

	2019年3月期	2019年3月期 第2四半期	増減額	コメント
<b>流動資産</b>	35,388	33,468	△ 1,919	
現金及び預金	5,871	5,773	△ 97	
受取手形及び売掛金	18,387	17,217	△ 1,169	■ 国内△457、海外△268、蛍光△20、照明△260、その他△161
たな卸資産	9,515	9,237	△ 277	■ 国内△316、照明+11、蛍光+11
その他流動資産	1,614	1,238	△ 375	
<b>固定資産</b>	43,491	45,274	1,782	
有形固定資産	22,446	24,377	1,931	■ 設備投資による増加+2,278、減価償却△923、オペレーティングリースの資産計上+239、他勘定振替+315
無形固定資産	813	487	△ 326	■ 設備投資による増加+59、減価償却△42、他勘定振替△315
投資その他の資産	20,231	20,408	176	
<b>資産合計</b>	78,880	78,742	△ 137	
<b>負債合計</b>	33,796	33,591	△ 205	
(借入金残高)	(3,237)	(4,916)	(1,678)	■ 設備投資による資金需要等への対応のため調達増+1,700
<b>純資産合計</b>	45,083	45,151	68	
<b>負債純資産合計</b>	78,880	78,742	△ 137	



## 2. 2020年3月期第2四半期決算実績

### ⑤ キャッシュ・フロー計算書（連結）



(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減額	コメント
営業活動による キャッシュ・フロー	1,354	2,140	785	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 法人税支払額の減少による増加</li> </ul>
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 940	△ 2,464	△ 1,523	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 定期預金△81</li> <li>■ 設備投資に伴う支出増△1,466</li> </ul>
財務活動による キャッシュ・フロー	537	145	△ 392	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 短期借入金による調達額の減少△450</li> <li>■ 長期借入金の返済額の減少107</li> </ul>
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 101	3	104	
現金及び現金同等物の 増減額	850	△ 175	△ 1,025	
現金及び現金同等物の 期首残高	4,256	5,704	1,448	
現金及び現金同等物の 期末残高	5,106	5,529	422	

### 3. 2020年3月期業績予想



## ① 連結業績予想のポイント

### 売上面

連結売上高 <b>75,000</b> 百万円 前期比 +1,256百万円 +1.7%	国内塗料	<b>53,650</b> 百万円	+677百万円 +1.3%	■ 構造物分野中心に各分野において 拡販に努める
	海外塗料	<b>7,700</b> 百万円	△363百万円 △4.5%	■ 自動車部品分野の需要が低調に 推移
	照明機器	<b>10,400</b> 百万円	+1,022百万円 +10.9%	■ 首都圏中心に堅調な需要が継続

### 利益面

連結営業利益 <b>6,600</b> 百万円 前期比 +560百万円 +9.3%	国内塗料	<b>3,100</b> 百万円	+165百万円 +5.6%	■ 拡販とともに原価低減活動に注力
	海外塗料	<b>1,000</b> 百万円	△190百万円 △16.0%	■ 需要停滞に起因する収益悪化
	照明機器	<b>1,800</b> 百万円	+561百万円 +45.3%	■ 原価低減施策の効果継続

### 3. 2020年3月期業績予想

## ②損益計算書（P/L）業績予想（連結）



(単位：百万円、%)

	実績		業績予想				コメント
	2019年3月期		2020年3月期				
	金額	構成比	金額	構成比	前期比		
増減額					増減率		
売上高	73,743	100.0	75,000	100.0	1,256	1.7	■ 照明機器の好調継続
売上総利益	21,833	29.6	22,600	30.1	766	3.5	
販売費及び一般管理費	15,794	21.4	16,000	21.3	205	1.3	■ 本社移転に伴うコスト増加
営業利益	6,039	8.2	6,600	8.8	560	9.3	■ 国内塗料の回復、照明機器の大幅増益
経常利益	6,210	8.4	6,600	8.8	389	6.3	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,604	4.9	4,000	5.3	395	11.0	
減価償却費	2,021	—	2,300	—	278	13.8	■ 設備投資の増額に伴う増加
設備投資額	2,571	—	3,500	—	928	36.1	■ 研究センターや中国新工場の手付金等

### 3. 2020年3月期業績予想

## ③セグメント別売上高・営業利益（連結）



(単位：百万円、%)

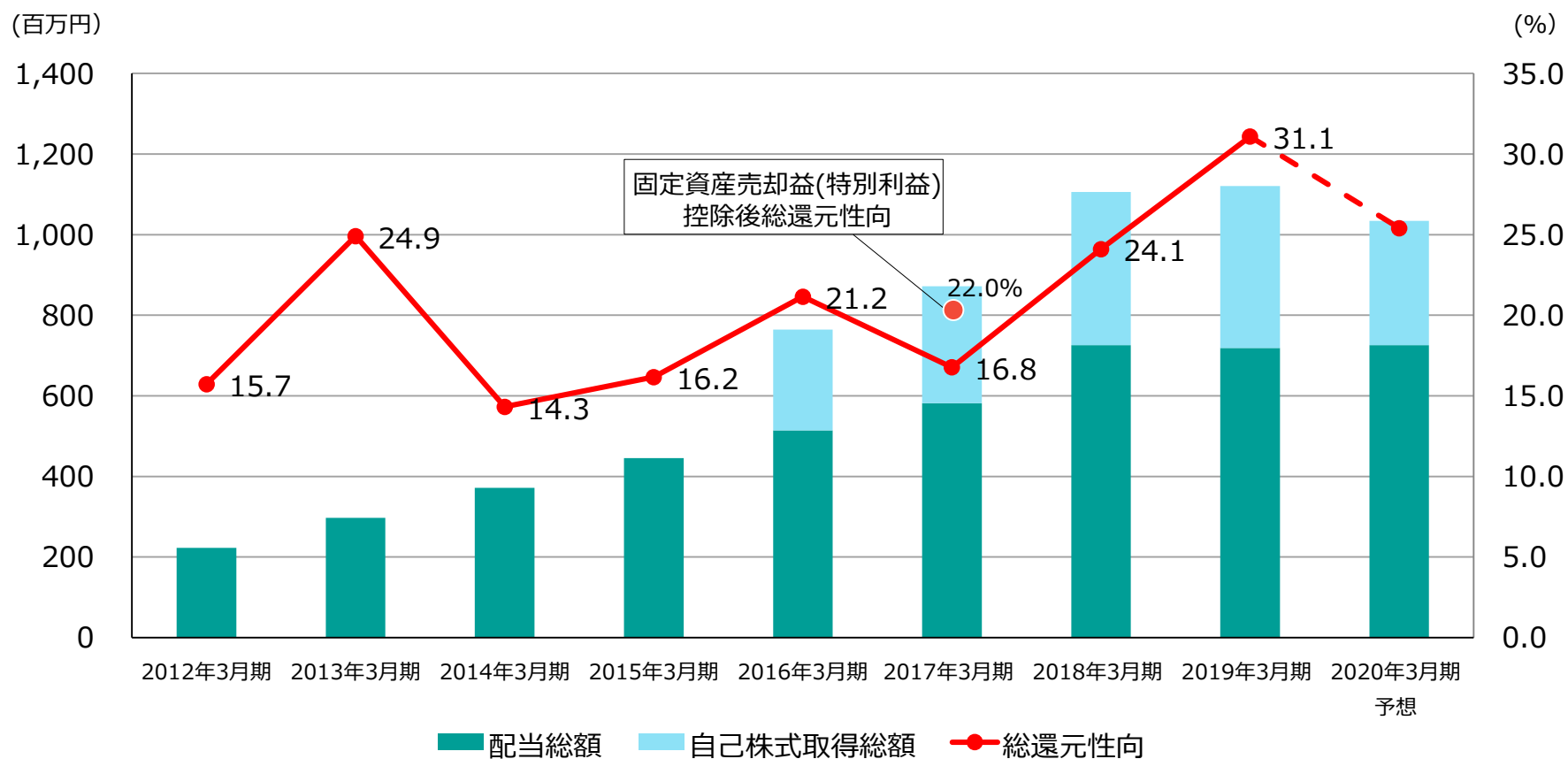
	実績		業績予想				コメント
	2019年3月期		2020年3月期				
	金額	構成比	金額	構成比	前期比		
増減額					増減率		
<b>売上高</b>	73,743	100.0	75,000	100.0	1,256	1.7	
国内塗料	52,972	71.8	53,650	71.5	677	1.3	■ 構造物分野中心に拡販に努める
海外塗料	8,063	10.9	7,700	10.3	△ 363	△ 4.5	■ 自動車部品分野の需要が低調に推移
照明機器	9,377	12.7	10,400	13.9	1,022	10.9	■ 首都圏中心に堅調な需要が継続
蛍光色材	1,287	1.7	1,350	1.8	62	4.9	■ 高付加価値品の拡販継続
その他	2,041	2.9	1,900	2.5	△ 141	△ 6.9	■ 前期好調の工事事業が需要減
<b>営業利益</b>	6,039	100.0	6,600	100.0	560	9.3	
国内塗料	2,934	48.6	3,100	47.0	165	5.6	■ 拡販とともに原価低減活動に注力
海外塗料	1,190	19.7	1,000	15.2	△ 190	△ 16.0	■ 需要停滞に起因する収益悪化
照明機器	1,238	20.5	1,800	27.3	561	45.3	■ 原価低減施策の効果継続
蛍光色材	74	1.2	150	2.3	75	100.2	■ 製品価格改訂効果
その他	315	5.2	270	4.1	△ 45	△ 14.4	
調整額	285	4.8	280	4.2	△ 5	△ 1.9	

## 4. 株主還元

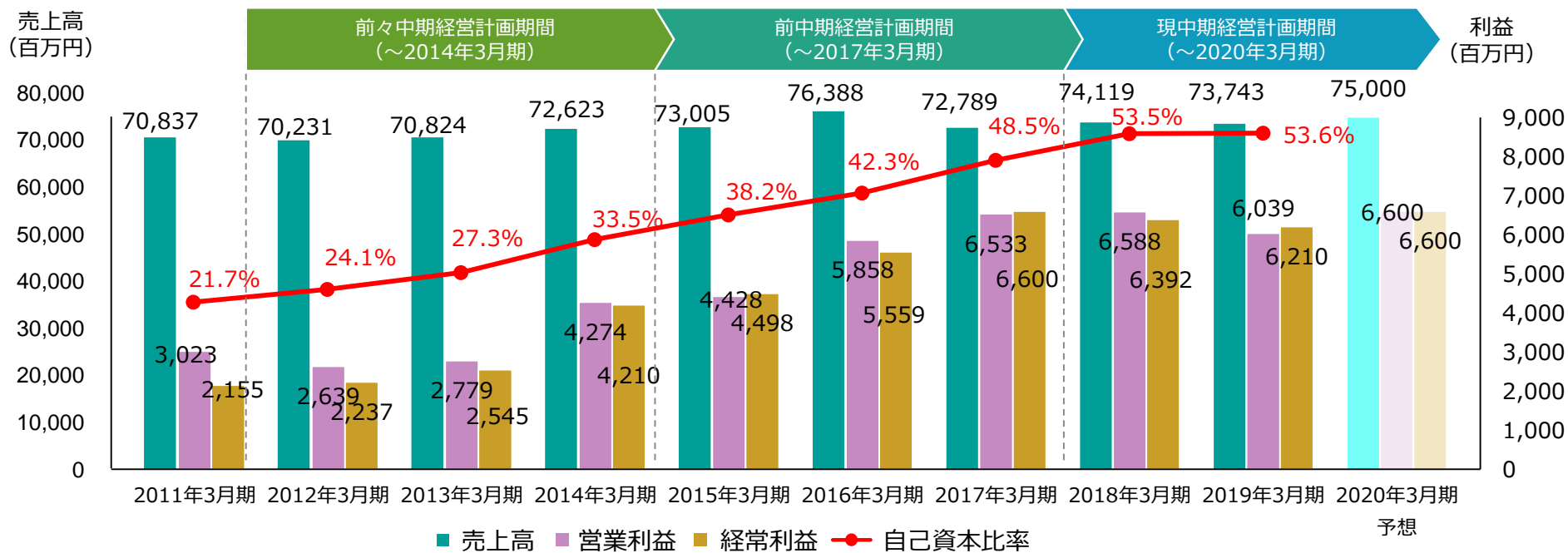


### 総還元性向推移

- 業績に連動した継続的な株主還元を着実に実施。2020年3月期は一株あたり25円配当を予定
- 2020年3月期は、30万株（308百万円）の自己株式を取得完了

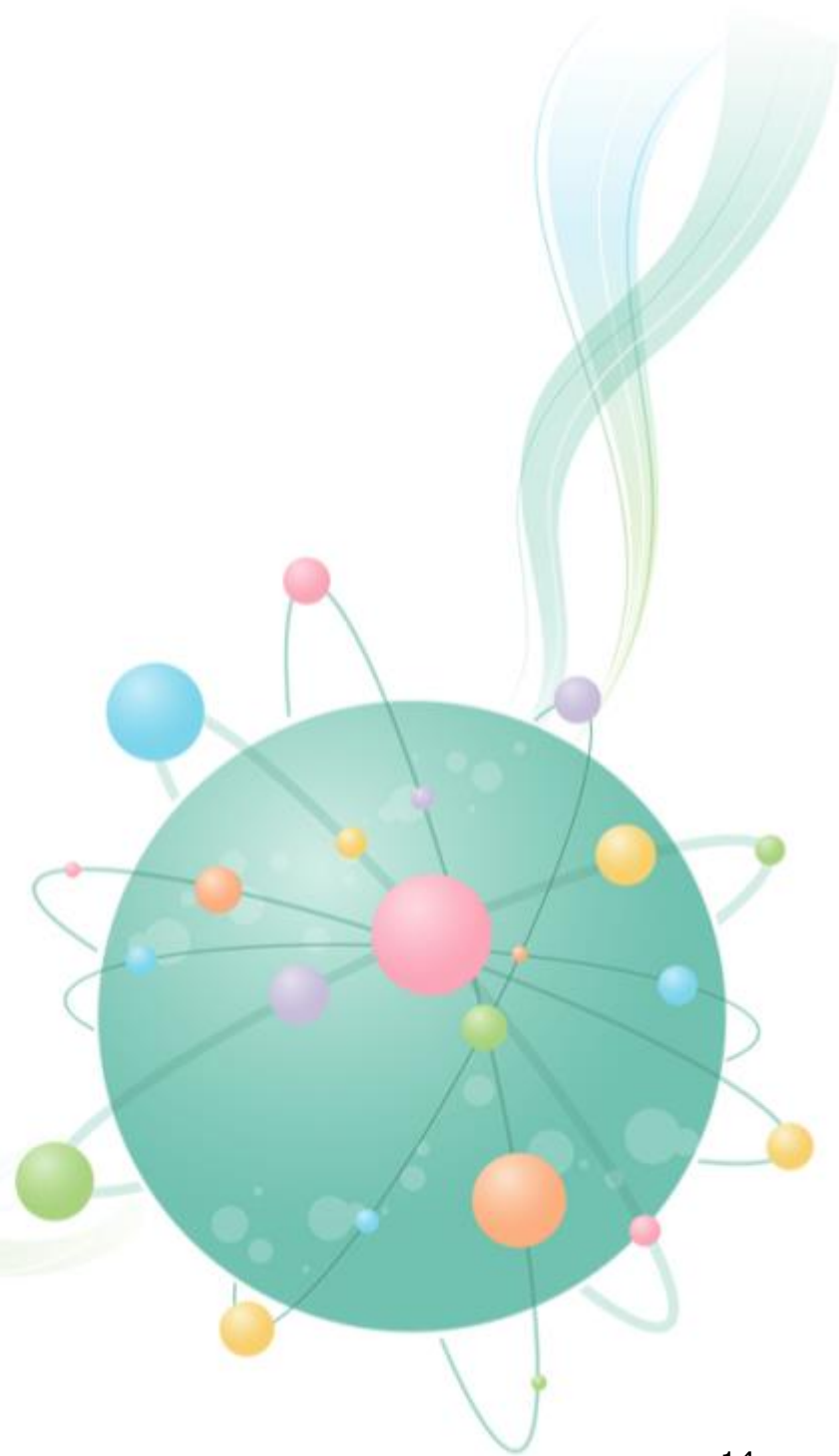


## 5. 連結業績推移



- 高付加価値品シフト/製品ポートフォリオの転換により高収益体質が定着
- 創出したキャッシュフローにより借入金を大幅圧縮、強固な財務基盤を実現。工場設備投資・研究センター建設等攻めのステージへ移行  
 ー借入金残高：2011/3末 208億円 →2019/9末 49億円 (△159億円)

## Part II. 經營戰略



# 1. 経営理念と方向性



## 経営理念

当社は、新しい価値の創造を通じて地球環境や資源を護り、  
広く社会の繁栄と豊かな暮らしの実現に貢献できる企業を目指します

### 大日本塗料の ポジショニング

#### ロケーション

- 国内：当社グループのメインマーケットとして重点事業分野に特化
- 海外：特定国の経営環境に対応した事業構造・商品に選択と集中

#### 事業領域

- 構造物、建築物、建材を中心に高付加価値品に重点
- インクジェット・照明機器・蛍光塗料など他社にない独自分野

### 経営課題

- デジタルテクノロジー発展に伴う産業構造の変革により生じる素材の変化への対応
- 東京オリンピックを境にインフラは新設からメンテナンスの時代へ突入、情報力・提案力・販売力構築が急務

商品開発をベースに顧客への  
ソリューションの提案力強化

総合サービス力の拡充・強化

## カスタマーファースト

お客様の満足度をいかに向上させるかということを第一に考え、お客様との「共存共栄」を図るための行動指針  
顧客メリットを考え、他社がやらない、できないことに集中し持続的利益を実現



## 2. 中期経営計画概要



**コンセプト** 持続的成長に向けて、新たな高付加価値化へ挑む

### ① インフラ需要の 確実な取り込み

インフラコーティングPJ

橋梁・  
コンクリートシェアアップPJ

### ② 強みを生かした 市場開拓

構造物橋梁・  
プラント新市場開拓

建材事業の高付加価値化

リフォーム事業拡大PJ

産業用インクジェット事業拡大

### ③ 国内塗料事業の 更なる強化

新素材、新基材への対応

メンテナンス対応の高度化

### ④ 海外事業の 積極拡大

海外事業拡大PJ

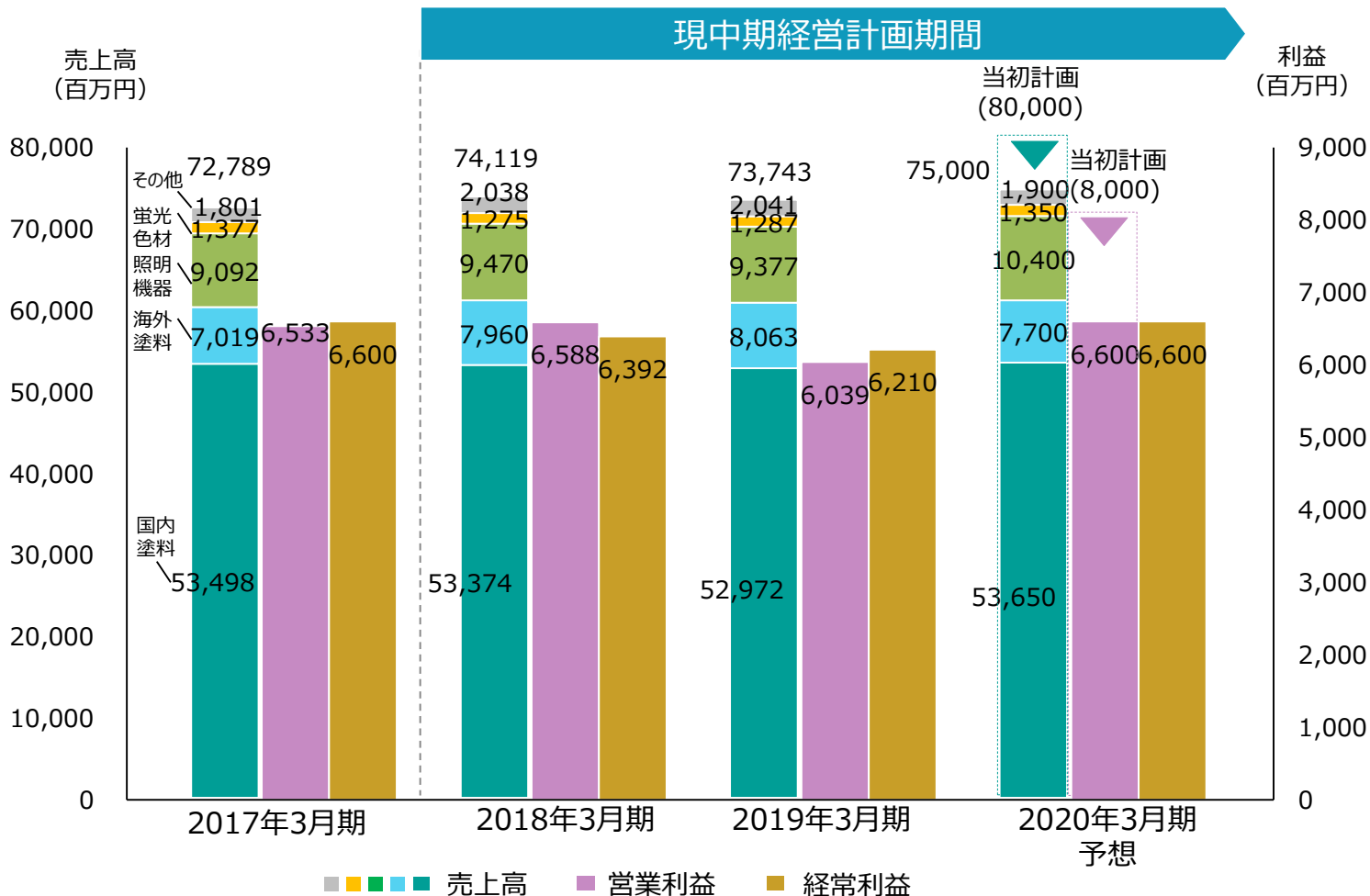
付加価値創出・効率化のための設備・R&D投資

M&Aの推進

	2017年3月期 実績	2020年3月期	
		当初計画	業績予想
<b>売上高</b>	72,789	<b>80,000</b>	<b>75,000</b>
国内塗料	53,498	58,100	53,650
海外塗料	7,019	8,800	7,700
照明機器	9,092	9,900	10,400
蛍光色材	1,377	1,400	1,350
その他	1,801	1,800	1,900
<b>営業利益</b>	6,533	<b>8,000</b>	<b>6,600</b>
国内塗料	3,886	4,910	3,100
海外塗料	1,186	1,580	1,000
照明機器	931	950	1,800
蛍光色材	135	140	150
その他	158	150	270
調整額	234	270	280
<b>営業利益率</b>	9.0%	<b>10.0%</b>	<b>8.8%</b>

### 3. 中期経営計画進捗状況

- 原材料の価格高騰/設備投資増加に伴う償却費の増加等を要因として当初計画を修正  
(売上高800億円 ⇒ 750億円、営業利益80億円 ⇒ 66億円)
- 中期経営計画諸施策については着実な進捗



- ① **インフラ需要の確実な取り込み**
  - ✓ オリンピック需要の着実な取込
  - ✓ 首都圏再開発の受注好調
  - ✓ インフラ補修需要獲得に向けた製品ラインアップを拡充
- ② **強みを生かした市場開拓**
  - ✓ 電力鉄塔・通信鉄塔等新市場開拓の進展
  - ✓ カーテンウォールメンテナンスでの画期的新商品上市
  - ✓ 共同開発案件の進展
- ③ **国内塗料事業の更なる強化**
  - ✓ 新素材/防食センター（仮称）計画策定・着工開始
  - ✓ プロセスイノベーションPJ稼働
- ④ **海外事業の積極拡大**
  - ✓ 中国（浙江省）新工場建設着工開始

## 4. 事業環境認識



- 原材料価格の不安定性に対応しつつ国内インフラ需要を着実に捉えるべく高付加価値化伸展の必要性
- 新興国を中心とした海外需要の拡大に対し現地における増産・ニーズに応じた製品供給対応が必須に
- 素材の革命的な転換、膨大な社会ストックのメンテナンスに対応するための研究開発投資の重要性高まり

	事業環境	今後の方向性
国内塗料	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 原材料価格の乱高下 ー 2018年3月期後半より高騰、その後2019年3月期後半に低下、不安定な相場が継続</li> <li>■ オリンピック需要の最終局面</li> <li>■ 人手不足に対応した省工程化・省人化のニーズ拡大</li> <li>■ 2025年大阪万博に向けた近畿圏のインフラ需要拡大</li> <li>■ オリンピック後にインフラ需要は拡大も長期的に横ばい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 販売価格是正可能な高付加価値商品の展開</li> <li>■ 省工程化・省人化に寄与する商品・工法の開発/LCCに優れた商品の開発</li> <li>■ 商品プロモーション強化</li> </ul>
海外塗料	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新興国を中心とした、市場拡大が継続 ー 北米・中国・東南アジアでの自動車部品市場は減速傾向</li> <li>■ 中国における環境規制の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日系自動車メーカーを軸とした自動車部品ビジネス</li> <li>■ 中国浙江省での新工場による需要拡大・環境規制への対応</li> <li>■ 海外への生産シフトに対する東南アジアの役割拡大</li> </ul>
機器照明	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ LED市場拡大の一層の進展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ LEDシフトの一層の推進</li> </ul>
技術革新への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 膨大な社会ストックの経済的メンテナンスが課題</li> <li>■ 新素材への対応</li> <li>■ 自動車ボディFRP化に向けた対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 研究開発投資促進</li> <li>■ 新素材/防食センター（仮称）設立による新商品・工法開発</li> </ul>



## ① インフラ需要の確実な取り込み

- オリンピック開催に伴う施設、再開発需要に対し、付加価値の高い遮熱性舗装・CW塗料等の拡販
- インフラ塗り替え市場をターゲット、首都高塗り替え工事を中心とした物件対応によりシェアアップを狙う

### スポーツ施設関連

- 首都圏競技場関連の主要物件を受注
  - ー 武蔵野の森総合スポーツプラザ（完工済）
  - ー 熊谷ラグビー場（完工済）



武蔵野の森総合スポーツプラザ



熊谷ラグビー場

- 地方スポーツ関連施設の主要案件も受注



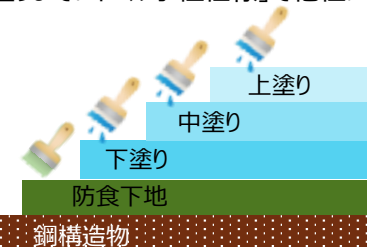
- ー 物件：栃木新武道館（2022年栃木国体）
- ー 構造：鋼・木質ハイブリッド構造の大空間建築物
- ー 塗料：鋼の防食（ゼッターOL-HB、エポール#65-W、グリーンポーセイ速乾下塗）、木床（ウレタイト）

### 橋梁・コンクリートシェアアップ

- 首都高が2019年7月に鋼橋塗装設計施工要領を改訂、「水性有機ジンクリッチペイント」を採用
  - ー 「DNT水性重防食システム」における実績を基に採用の広がり期待

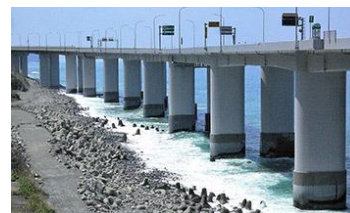
#### 「DNT水性重防食システム」

- ー 防食下地から上塗りまで「オール水性仕様」で他社に先駆けた採用が進展



- ー ジンクリッチペイントから下塗、上塗までオール水性化を実現（業界初）
- ー 溶剤形比VOC約90%削減／溶剤形比格段の安全性

- 優れた防食技術をコンクリートの劣化防止技術開発にも応用展開、「レジガードシステム」として工法を確立
  - ー 商品ラインアップを充実



親不知高架橋



高速道路橋桁

### ②強みを生かした市場開拓

- 高付加価値な差別化商品・ニッチ商品で採算性の高いマーケットを開拓、新型特急等に採用
- 4社共同研究による革新的なインフラ設備補修用はく離抑制型塗料を先行発売

#### 鉄道車両新市場開拓

- 金属調塗料「スーパーブライトNo.2000」が西武鉄道の新型特急「Laview」に採用
  - 薄膜で粒子が非常に小さな高級アルミ粒子を使い、配向よく並べることで、塗装面が平滑かつ高輝度な外観を実現



Laview（出所：西武鉄道株式会社）

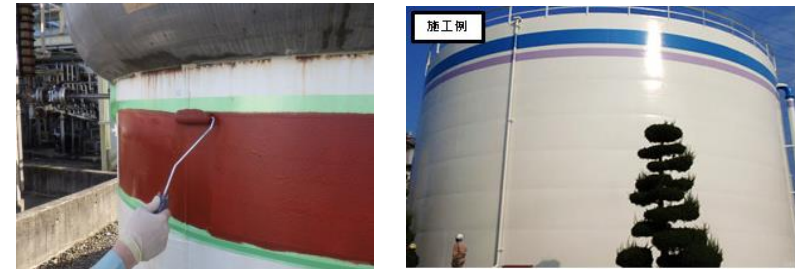
- 観光列車・豪華列車等高意匠が求められる車輜への採用実績多数
- 相模鉄道新型12000系車輜に、「Vトップ車輜用ゴールド」が採用



相模鉄道12000系（2019）

#### 4社共同開発による新製品「ケルビンα2.5」

- 塗料メーカー3社（大日本塗料、関西ペイント、神東塗料）と四国総合研究所の共同開発による革新的な「はく離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料」
- 予防保全的にはく離リスクを低減することで補修コストの大幅な低減を志向



- 旧塗膜を残した状態で塗料を塗り重ねることで塗膜のはく離を抑制できるこれまでに類を見ないユニークな塗料
- 「剥離抑制型弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料」として、NETISに登録、今後更なる展開を見込む
- 2019年度の色材協会賞・技術賞を受賞

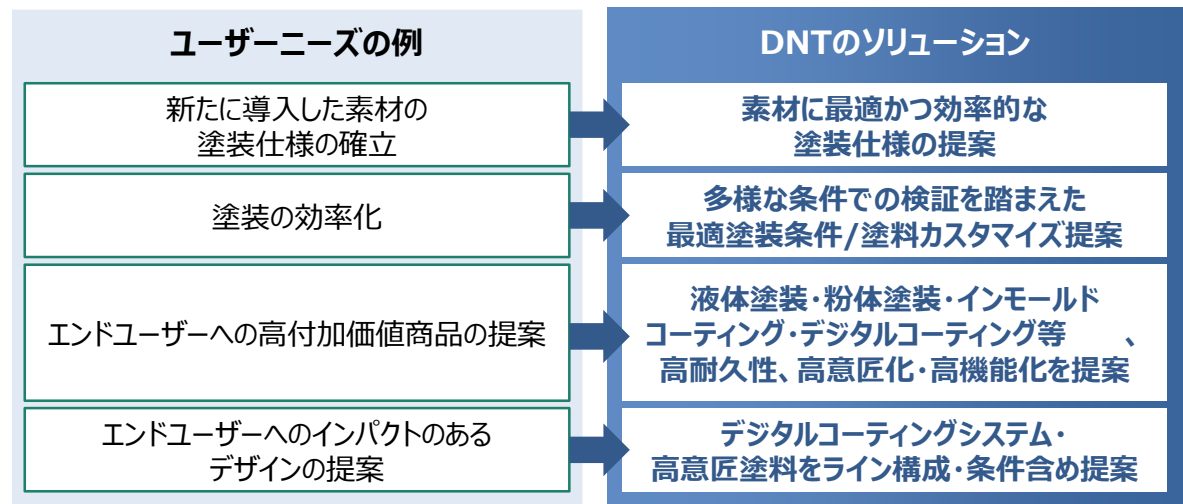
### ③国内塗料事業の更なる強化(1)DNT新素材センター（仮称）

- エネルギー消費量削減・CO<sub>2</sub>削減方針のもと、あらゆる分野で軽量化新素材の適用増加が見込まれる
- 顧客との共同研究や塗装デモ、技術・デザインプレゼン等により顧客提案力を強化し、一層の信頼獲得を図る

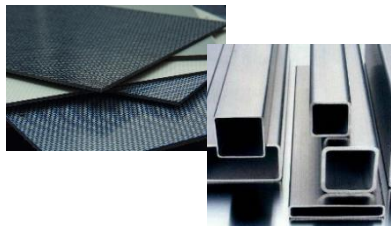
#### DNT新素材センター（仮称）／小牧

##### 新素材センター（仮称）概要

建設場所： 小牧工場敷地内  
 建床面積 552㎡， 延床面積1,658㎡  
 竣工： 2020年5月（予定）  
 投資総額： 13.7億円（予定）



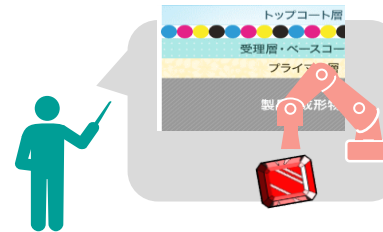
① 顧客が適用しようとしている  
素材・用途をキャッチ



② 素材の耐性等の性能解析  
最適コーティングシステム提案



③ 効率的コーティングライン/  
デザインの共同開発



④ コーティングラインの構成と  
条件の設計・提案





### ③国内塗料事業の更なる強化(2)DNT防食センター（仮称）

- 実構造のモックアップ配備など本邦随一の設備を完備、商品・技術・情報・サービスのトータルソリューションの提供を図り、差別化を図る

#### DNT防食センター（仮称）／那須

##### 防食センター（仮称）概要

建設場所： 那須工場敷地内  
 建床面積 675㎡ 延床面積1,000㎡  
 竣工： 2020年5月（予定）  
 投資総額： 10.2億円（予定）



##### ① 新規寿命予測システムの開発

- 近距離または遠方からの塗膜や構造躯体の劣化診断技術の研究開発



##### ② 新設・補修塗装仕様、施工工法の開発

- 様々な現場環境下で実構造物を模擬した構造物を用いた商品・施工工法の開発



##### ③ 新技術の提案

- 新商品・新工法を実演しながら紹介～顧客にとっての価値を分かり易く提案





### ③国内塗料事業の更なる強化(3)プロセスイノベーションPJ

- 新しい技術を取り入れ生産効率の抜本的向上を図るプロジェクトを展開
- 小牧工場では今期中に大量エリアの改善が完了予定、今後は少量多品種エリアの改善検討に着手

#### 小牧工場の生産効率改善

##### STEP1：大量生産エリアの集約、レイアウト改善

- 2018年1月 部分的に集約 / 2019年下期 完了予定
- 投資額220百万円 ⇒ コスト削減効果37百万円/年



自動充填機



パレット自動積載設備



##### STEP2：少量多品種エリアの効率化 (CCMと自動調合との連携による自動化)

- 2021年度の稼働を目指し、システム導入等により、工程の自動化・省人化に向けた検討に着手

#### 粉体塗料の生産能力増強

##### 大量ライン増設・新型設備導入

- 2019年2月 大量ライン増設：生産能力25%増強
- 2019年10月 新型設備導入：高付加価値な意匠性粉体塗料の生産効率化
- 投資総額 380百万円 ⇒ 今後の粉体塗料の拡販への備え



新型押出機



高意匠性粉体製造設備



## 5. 経営戦略トピックス

## ④ 海外事業の積極拡大

- 中国（浙江省）に環境対応を目的に新工場を建設中、2020年10月稼働予定
- タイでは顧客対応力の強化のため、技術部門の機能増強を実施

## 中国（浙江省 新工場建設）



- 環境安全対策を整備するとともに、溶剤・水系・粉体塗料の新たな製造拠点とし、更なる事業拡大を図る

## 【工場概要】

**会社名** : 迪恩特塗料（浙江）有限公司  
**資本金** : 12百万USD（約1,400百万円）  
**出資者** : 大日本塗料（100%）  
**稼働時期** : 2020年10月（予定）

- 環境規制への適応/生産能力拡大
  - 中国における環境安全規制の強化への対応
  - 生産能力を順次拡大、粉体塗料の内製化による顧客対応力の強化
- 工場稼働後の事業拡大施策
  - 自動車部品メーカーへの販路拡大、エリアを拡大した新規顧客開拓を図る
  - 現地ユーザーに環境問題に対応した産機・建機分野、建築・構造物分野における水性塗料、粉体塗料の拡販を図る



新工場イメージ図

## タイ（技術部門の機能強化）



- 自動車関連分野の更なるシェア拡大に向け、塗料の現地開発・設計機能を増強し、顧客対応力や提案力の強化を図る
- ロボット塗装ブースの新設、試験分析室の拡充を実施し、業務対応力を強化



ロボット塗装ブース



# グループトピックス（照明機器事業）

- 蛍光灯の価格適正化及び生産合理化、LED照明の原価低減努力による利益率改善
- 大都市圏再開発、ホテル等や商業施設の改装需要が重なり、売上が伸長。新市場開拓にも注力

## 首都圏再開発/ホテル/商業施設

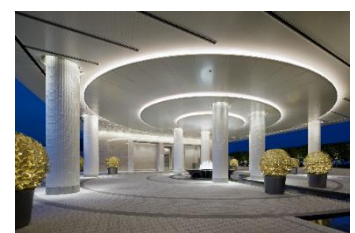
- 大都市圏再開発需要やホテル、商業施設に対しアドバイザー型営業を展開、製販一気通貫の強みを生かした案件獲得を推進



**JR立川駅**  
 施主：東日本旅客鉄道(株)  
 設計：(株)JR東日本建築設計  
 撮影：荒木文雄



**A PIT AUTOBACS SHINONOME**  
 施主：(株)オートバックスセブン  
 設計：(株)トネリコ  
 撮影：佐藤久



**芦屋ベイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート**  
 施主：リゾートトラスト(株)  
 建築設計：(株)日建設計  
 内装設計：(株)日建スペースデザイン  
 照明計画：(株)スタイルマテック 松本浩作、真崎雅子  
 撮影：Nacása & Partners inc.



**MARK IS 福岡ももち**  
 施主：三菱地所(株)  
 設計監理：三菱地所設計・竹中工務店共同企業体  
 照明計画：LIGHTDESIGN INC.  
 撮影：後藤晃人

## 新市場開拓

- 製品組み込み照明市場の開拓
  - 新商品発表会、業種別セミナーの開催、製品・技術の市場訴求を強化し、拡販促進



第2回新商品発表会



ホテルセミナー開催

- 産業機器分野・農業分野の開拓
  - 農業分野（野菜・きのこ）へのPR営業強化



第8回農業Week出展



ライティングフェア2019

## 6. 次期中計に向けた課題認識



企業価値

### 成長基盤の整備

インフラ需要の確実な取り込み  
強みを生かした市場開拓  
国内塗料事業の更なる強化  
海外事業の積極拡大

新素材・防食センター（仮称）の設立など  
成長基盤の整備が完了

現中期経営計画  
FY2017～2019

### 成長基盤を活用した “変革”の断行

#### 提供価値の強化

- ・ 新素材・防食センター（仮称）を活用した新商品開発
- ・ 商品ラインナップの補強

#### 価格競争力の強化

販売体制の再整備  
（チャンネル、情報連携）

#### 海外事業の強化

次期中期経営計画（予定）  
FY2020～2022

**DNT**  
DAI NIPPON TORYO

成長加速

## 7. その他トピックス

### ① 高機能塗料展開催

- 塗料業界の総合展示会「第2回 [関西] 高機能 塗料展」に出展、12月東京にて開催予定
- 「ケルビンα2.5」をはじめ臭気抑制型室内水性塗料「コージーパック」などさまざまなラインアップを出展

#### 第2回 [関西] 高機能 塗料展

会期：2019年5月22日(水)～24日(金)

会場：インテックス大阪

主催：リード エグジビション ジャパン (株)

共催：(一社) 日本塗料工業会

【テーマ】High Technology of Coating

【主な出展内容】

- 工業製品への高意匠付与  
『DNTデジタルコーティングシステム』
- 素地調整法を大幅軽減！“塗る”素地調整  
『サビシャット』
- 旧塗膜のはく離を抑制するインフラ設備補修用塗料  
『ケルビンα2.5』
- 皮脂による塗膜軟化に対応した水性塗料  
『アクアマリンタックレス』
- 酷暑を打ち返す遮熱塗料『エコクールシリーズ』
- めっき仕上げのような質感を塗料で再現  
『金属調塗料』
- 耐候性と作業性を両立したふっ素粉体塗料  
『パウダーフロンSELA』

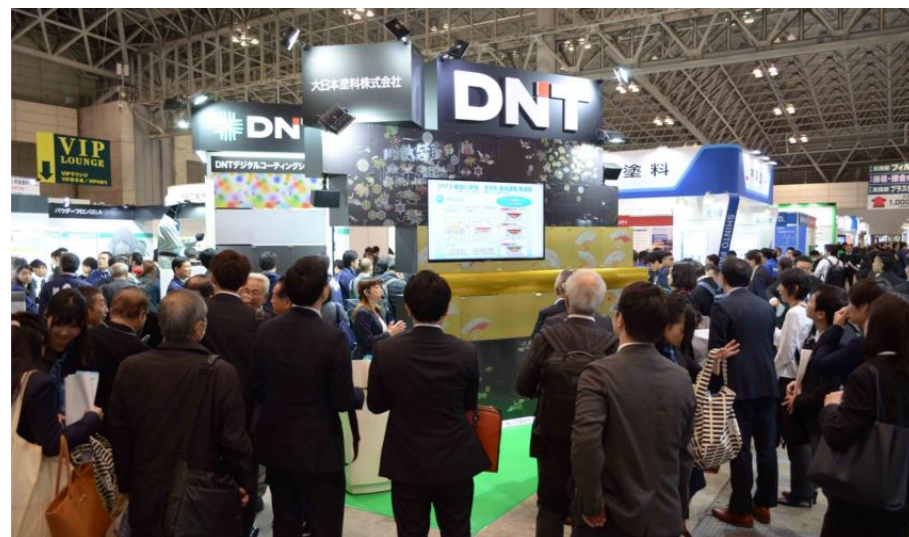
#### 第2回 [東京] 高機能 塗料展

会期：2019年12月4日(水)～6日(金)

会場：幕張メッセ

主催：リード エグジビション ジャパン (株)

共催：(一社) 日本塗料工業会

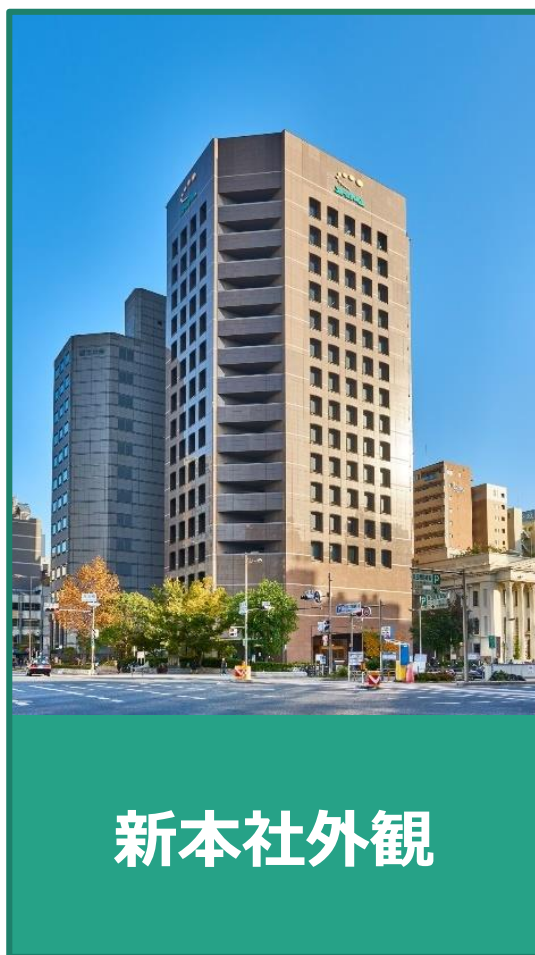


関西展での大日本塗料ブース

## 7. その他トピックス

### ② 本社移転・新ショールーム開設

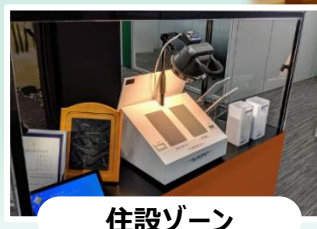
- 旧本社社屋老朽化対応、関連部署間の連携強化による業務効率化と執務環境の改善を図る目的で、大阪市中央区南船場へ8月13日に移転
- 本社移転に伴い「DNTグループショールーム」をリニューアルオープン、情報発信を強化



#### DNTグループショールーム 色彩と光を基本コンセプトに5つのゾーンで構成



#### ショールーム全景



# 8. ESGへの取組

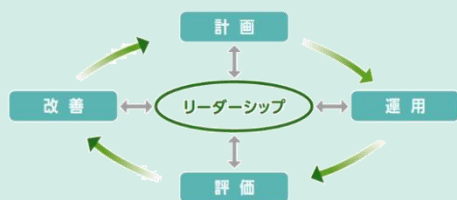


- グローバルな社会課題解決に向けた目標達成への貢献を目指し、活動の意義と照らし合わせた取組を推進
- 「環境報告書」を2019年度より「統合報告書」にリニューアル、情報発信力を強化

## 環境 (Environment)

### マテリアリティ 環境保全

### 環境マネジメント



環境マネジメントシステム（EMS）を基軸として、グループ全体での環境経営体制を強化

### 地球温暖化防止



3事業所でISO14001の認証取得、省エネ徹底の事業活動を通じCO<sub>2</sub>の発生量原単位の削減に取組

### 大気汚染防止/水質汚濁防止



DNT水性重防食システム

環境対応形塗料など商品開発を積極的に展開しVOCの削減に貢献

## 社会 (Society)

### マテリアリティ

### お客様との関わり



ISO9001（品質）マネジメントシステムによる徹底した品質保証体制を構築

## ガバナンス (Governance)

### マテリアリティ 公正で誠実な企業活動



### コーポレートガバナンス/コンプライアンス

- 取締役会
  - 全9名、社外取締役3名（内1名女性）
- 監査役・監査役会
  - 監査役3名（内2名社外監査役）
- 執行役員制度導入
- 指名及び報酬諮問委員会設置
- コンプライアンス委員会設置

# Appendix.



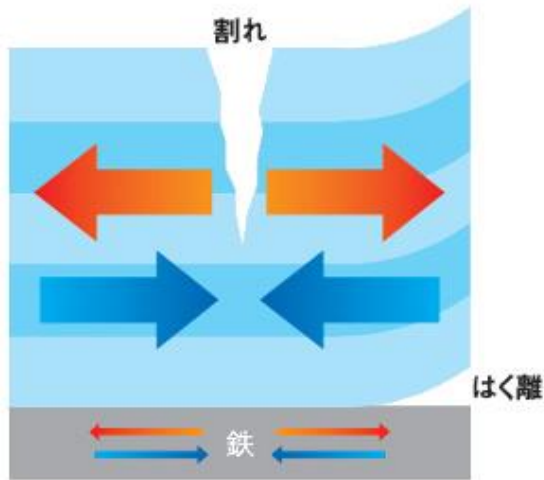
# 1.製品紹介



## ①インフラ設備補修用 塗膜はく離抑制型塗料『ケルビンα2.5』

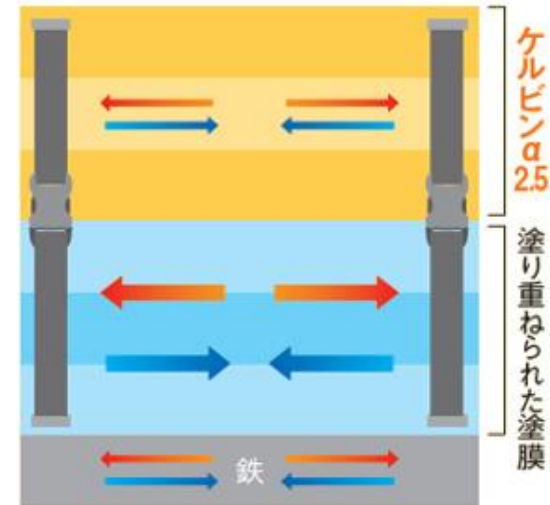
- 線膨張係数<sup>※</sup>に着目し、重ねて塗るほど剥がれにくいという 従来の常識とは異なる新しいコンセプトの塗料
- 国交省による新技術情報提供システム「NETIS」にも登録され、今後一層の市場への浸透を図る

### 一般的な塗膜



一般的な塗膜は線膨張係数が鉄よりも大きい  
→ 伸縮ストレスの相違により、**付着力が徐々に低下**

### 新型塗料『ケルビンα2.5』



線膨張係数が小さいケルビンα2.5は寸法安定性に優れる  
→ 旧塗膜の伸縮を抑制し、はく離抑制機能が向上

### ※ 線膨張係数とは？

- 線膨張とは全ての物質にみられる熱膨張現象で、温度上昇により物質の長さが大きくなる現象
- 鉄の線膨張率を1.0とすると… 【一般的塗料の塗膜】6.0程度  
【新型塗料の塗膜】2.5 → 塗膜はく離の抑制

— 特許取得 —  
特許第6330100  
特許第6351896



# 1.製品紹介



## ②においを抑えたゼロVOC水性塗料『COZY PACK』

- 塗料が発する“におい”を抑え、かつVOC（揮発性有機化合物）を一切含まない人と環境にやさしい水性塗料
- 夜間休日工事を強いられ、工費面で課題を抱えるオフィスビルや商業ビルの内装塗替え市場がターゲット

開発背景

### オフィスや商業施設の原状回復工事

- 塗料による臭気問題から、建物内に人がいなくなる夜間や休日に改修工事が行われることが多い。
- 作業割増金、警備費用、光熱費など施工コストが高む
- 作業人員の確保も困難

### COZY PACK

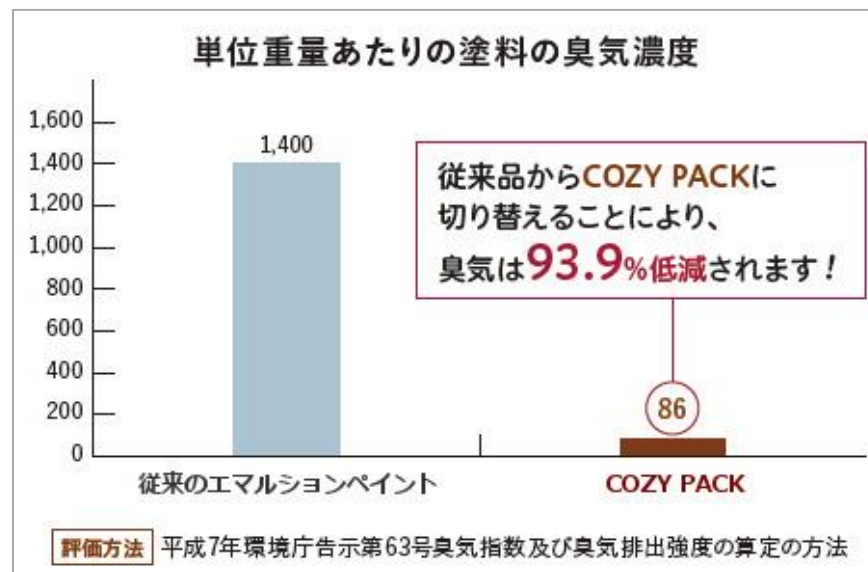
- 昼間でも改修塗装工事が可能な水準までに臭気を低減  
→ 施工コストの低減に寄与
- シックハウス症候群の原因物質でもあるVOCを一切含まず、施工者にも入居者にも安全安心な水性塗料  
→ 環境安全面で不動産の価値向上に貢献



デザイン缶



カタログ

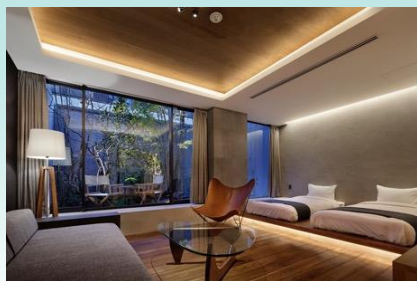


## 2.関係会社事業内容

### ①照明機器事業 (DNライティング(株)・ニッポ電気(株))

- 照明器具デザインに発展性を求めながら市場ニーズに対応した商品ラインナップを拡充
- 生産子会社であるニッポ電気の生産効率改善が進み、LED事業が好調に推移

#### ホテル案件



#### 22 PIECES

撮影：繁田諭 写真事務所



#### 間人温泉 炭平旅館 (さゞ波)

撮影：ad hoc inc. 志摩大輔

#### LED関連の競争力強化への取組み

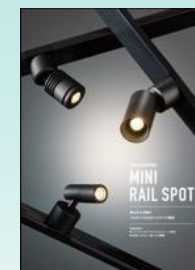
- LED関連商品の競争力強化
  - － 高付加価値品と廉価汎用商品の二極化傾向に対応できるバランスのとれた生産体制の構築



プロファイルシステム  
PFS



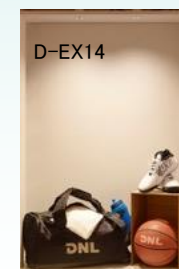
プロファイルシステム  
PFSH



ミニレールスポット



フレキシブルLEDモジュール  
高照度タイプ



ダウンライト100V仕様  
高照度タイプ

## 2.関係会社事業内容

### ② 蛍光色材事業 (シンロイヒ(株))



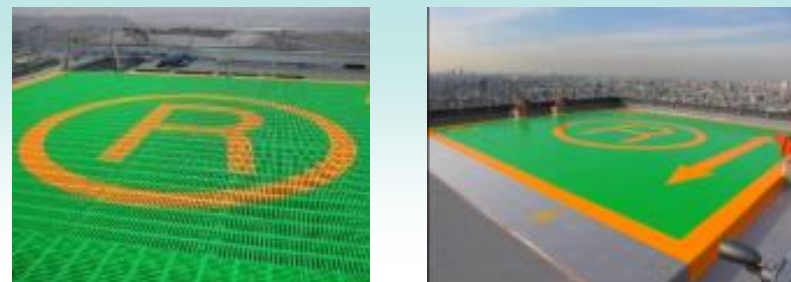
- 蛍光色材会社として、蛍光塗料・顔料における圧倒的な国内シェア
- 素材の製造・販売から、特殊な蛍光塗料を使って建物の内外装デザインまで手掛ける

#### 安全防災マーキング



- 駅ホーム落下防止安全対策のCPラインや河川水害対策の量水標で使用されている蛍光塗料

#### ヘリポートサイン



- 高層ビルの災害時に効果を発揮する緊急離発着場専用の蛍光塗料

#### 捺染、インキ用水性蛍光顔料



- 衣服など繊維の染色や印刷用途で使用されている蛍光顔料

#### テーマパークコーティング



- 耐候性、耐水性に強い水性アクリル樹脂を使用したデコラティブペイント

# 本日はありがとうございました



## 彩り企業、DNT。

IRに関するお問い合わせ先

大日本塗料株式会社 管理本部 経営企画室

.....  
電話：06-6266-3103  
e-mail：dnt-sou@star.dnt.co.jp

### 将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。